Muse不具合一覧 - Bug #25
(V5.35)途中再生の際、波形加工が正しく反映されない

2013/12/31 10:18 - Redmine Admin

ステータス:	終了	**開始日:**	2008/05/17
優先度:	通常	**期日:**	2008/05/18
担当者:		**進捗 %:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	0.00時間
対象バージョン:		**作業時間の記録:**	0.00時間

説明

状況(2008.05.18)

V5.36で対処済み。

(原因)V5.35でシーク処理を全面的に改良したが、その際ＮＲＰＮ／ＲＰＮの波形加工値制御において、
全メンバーを１つのフラグで管理していたため、複数のメンバーが絡むと最適化による不要メッセージの
送出抑止が過度に働き、必要なメッセージも止められていた。

(対処)波形加工値制御のフラグを１６メンバー独立で設け、適切な抑止処理となるよう修正。
また今回の対処に伴い、ハード音源にも許容できる範囲でシークのインターバルを低減させ、
より高速にシークできるよう改善した。

概要(2008.05.17)

Museのver.5.31では問題ないが、 ver.5.35で以下の記述を途中再生すると メンバーAが正しく再生されない。

```
#A0 @Q=64._8@Q=10.
#A1 _d
#B0 @Q=.64
#B1 s
```

更に、コンパクトにすると以下でも再現する。

```
#A0 @Q=64. _8 @Q=10. _8 d4
#B0 @Q=.64 s4
```

ただし、Ｂメンバーを休符にすると再現しなくなる。
また、Ａメンバーで冒頭の@Q=64.を指定しないと再現しなくなる。
更に、Ａメンバー行とＢメンバー行の記述順を入れ替えても再現しなくなる。

なお、Roland系では上記の不正を聞き取りにくく、YAMAHA系では聞き取りやすい。
＜確認しやすい音源＞
・YAMAHA AC-XG WMD XG Symth
・YAMAHA SXG
＜確認しにくい音源＞
・Microsoft GS Wavetable SW Symth
・Roland VSC
・WinGroove

関連するチケット:

関連している Release # 116: Muse V5.35	**終了**	**2008/04/27**